

地域ボランティアプログラム② みなみおおさまカフェプログラム

「みなみおおさまカフェ」

2018/12/11

～本日のイベント～

10：00～ カフェタイム

10：15～

ジャグリング&ジャグリング体験教室

(首都大学東京 Team“Lamp”OB)

11：00～

演奏① (地区民生委員と地域有志)

演奏② (首都大学東京管弦楽団)

12：00 閉会

12月11日(火)、南大沢キャンパス国際交流会館1階のロビーにて、「みなみおおさまカフェ」が開催され、本プログラムから4名の学生がボランティアとして参加しました。

今回のみなみおおさまカフェでは、クリスマスが近いということから、カフェのスタッフみんなで

サンタの帽子を被り、地域の方々をお迎えしました。少し気恥しそうにしている学生もいましたが、いつもと違う特別感があり、とても明るい雰囲気になりました。

さらに今回は、ドリンクも特別です。コーヒー等、いつもお出ししているドリンクに加え、カフェのメンバーである留学生が中国へ帰省した際に持って帰ってきたという「花茶」をお出ししました。「花茶」は花のいい香りがするだけでなく、目に良い効果があると言われていたそうです。地域の方々も珍しそうに花茶を飲んでおられました。

カフェタイムでは、今年最後のカフェということもあり、どのテーブルもいつも以上に会話が弾んでいる様子でした。学生たちは、いつものように、積極的にテーブルに入り、地域の方々とのお話しを楽しんでいました。日本語を勉強中の中国人留学生も紙に字を書きながら色々な話をしているようでした。



▲地域の方とお話している様子

学生によるジャグリングの披露では、地域の方々椅子から立ち上がって見ておられる等、大盛り上がりでした。ジャグリングを初めて見る方々が多く、大技が決まった際には、大きな歓声や拍手が送られていました。

最後は、大会議室での演奏です。いつもカフェの運営をしている地区民生委員と地域有志の方による電子ピアノやサックスの演奏では、「ホワイトクリスマス」などの冬の曲を聞き、季節感を楽しみました。

首都大学東京管弦楽団の学生による演奏では、本人たちもあまり演奏したことがないと話す演歌「津軽海峡冬景色」を聞きました。地域の方々、時折歌詞を口ずさみながら、体を揺らしながら、楽しそうに聞いておられました。

また来年も、みなみおおさまカフェで多くの方とお会いできることを楽しみにしております。



▲地域の方々とお話している様子